

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-12 観光振興事業 □支 援 部 門									
主管課	観光商工課					関連課				
分野名	観光									
目標 (目標値)	鎌倉の観光情報をタイムリーに提供することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。また、主要観光行事などの開催支援や、案内業務を適切に行うことによって、観光客に安全で快適に観光を楽しむことができるようにする。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	19,743,182人	18,110,868人	19,486,481人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	68,175	93,329	83,306						
	(国・県)	1,018	33,273	16,252						
	(負担金等)	1,445	260	3						
	(一般財源)	65,712	59,796	67,051						
	人員配置数	1.9人	1.9人	1.4人						
	人 件 費(千円)	15,627	17,337	13,505						
	協 働 の パートナー	広域観光団体ほか 推進体制関係団体ほか	広域観光団体ほか 推進体制関係団体ほか	観光協会 商工会議所						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	83,802	110,666	96,811						
	市民1人当 りの経費(円)	473	625	546						
	対象者1人 当りの経費(円)	4	6	5						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜	藤沢	箱根	京都	鎌倉				
	観光客数	42,432,204	15,153,934	19,438,000	49,555,000	19,743,182				
	宿泊者数	5,335,688	420,345	4,631,951	13,100,000	319,263				
	宿泊率	12.6%	2.8%	23.8%	26.4%	1.6%				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
HP1日当たりのアクセス数	◎	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	3,844	3,888	4,519	4,954				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
観光振興支援事業	11,464千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	鎌倉花火大会や俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなどに負担金を交付し、様々な鎌倉観光の魅力を伝えた。			
広報宣伝事業	6,007千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	「四季のみどころ」や観光マップ「鎌倉」、観光ポスターの作成、ホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。			
観光協会支援事業	40,752千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	観光協会の運営に対する支援を行い、観光振興の充実を図った。			
観光案内所運営事業	9,952千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を観光協会に委託し、観光客に適切な観光情報を提供した。			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	「四季のみどころ」や観光マップ「鎌倉」、ホームページの広報宣伝媒体に広告を掲載し、積極的かつ確実な財源確保を図る。 着地型観光商品の商品化を検討する。 増加が見込まれる外国人観光客への対応を図る。		
課題解決のための取組	市内の企業等に「四季のみどころ」や観光マップ「鎌倉」、ホームページの広告募集を行った。 観光協会が第3種旅行業の取得について支援を行う。 観光庁の事業により、外国語版ホームページ及びパンフレットの充実を図り、外国人受入環境整備を行った。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	広告主の効果的で確実な募集方法を検討する必要がある。 増加が見込まれる外国人観光客に対する受入環境をさらに充実する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 財源確保のために、広告を募集し易くするため、更にホームページのアクセス数を増加させる。 平成22・23年度の2か年で実施した、鎌倉市観光資源創出及び商品開発等事業の調査結果を受けて、平成25年度以降に新たな事業展開を推進する。 増加が見込まれる外国人観光客を念頭に置いた観光施策を推進していかなければならない。	↓ A	※□事業完了
		②妥当性 ○				課長等名
		③有効性 ○				課長(代理)
		④公平性 ○				齋藤和徳

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
観光振興支援事業	主な個別事業	386 俳句&ハイク事業負担金	542	540	○	○	○	○
		386 鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,045	1,045	○	○	○	○
		386 鎌倉花火大会実行委員会負担金	4,754	4,754	○	○	○	○
		387 主要観光行事安全対策負担金	5,000	5,000	○	○	○	○
広報宣伝事業	主な個別事業	388 四季のみどころ印刷製本費	1,143	1,178	○	○	○	○
		388 課外授業ガイド印刷製本費	0	402	○	○	○	○
		388 四季のみどころ作成業務委託料	870	840	○	○	○	○
		388 観光マップ「鎌倉」作成業務委託	1,050	718	○	○	○	○
		388 観光ポスター作成業務委託	520	240	○	○	○	○
		388 ホームページ更新等業務委託料	648	648	○	○	○	○
		388 課外授業ガイド作成業務委託料	767	0	○	○	○	○
		388 外国語版パンフレット作成業務委託料	500	115	○	○	○	○
		389 観光展出張事業等負担金	1,500	1,350	○	○	○	○
		389 着地型観光フォローアップ事業負担金	500	500	○	○	○	○
観光協会支援事業	主な個別事業	396 鎌倉市観光協会運営費等補助金	40,753	40,752	△	○	○	○
観光案内所運営事業	主な個別事業	1162 観光案内所業務委託料	9,770	9,770	○	○	○	○
	主な個別事業							